

2025年度 安全重点施策

会社名		富士急静岡バス株式会社	
安全方針		安全重点施策	
		安全目標	取組計画
1	安全は全てに優先する	重大事故「0」	経営幹部による「早朝点呼」で安全訓示・ドライブレコーダーによる指導の実施。（毎月1日）
		有責事故「0」（前年度9件）	「バスドライバー安全運転の心得」の浸透定着を図る為の認識度チェックの実施。（毎月1回）
		車内事故「0」（前年度2件）	「交通安全運動」・「輸送安全総点検」等の安全運動の実施。（期間中、運動リボン着装・乗合バス方向幕での運動掲出・車内事故防止の為の肉声案内の実施）
		健康起因事故「0」	ドライブレコーダー映像の活用による運転指導教育の実施。
2	法令及び諸規則の順守	全職員への安全意識の浸透定着の向上	「安全会議」実施による安全・危険情報の共有による事故防止の意識向上を図る。（毎月1回）
3	常に安全の維持・向上	輸送力の確保・維持の為の乗務員の健康管理の徹底	各種スクリーニング検査の実施および管理。（定期健康診断・不法薬物検：12月～1月）（SAS検査：12月）（脳ドック：2月）／要検査者への再受診の徹底
		事業エリアに則した運転技術教育訓練の実施・管理による安全運転の維持・向上	事業エリアに必要な運転技術訓練として「夏山走行訓練（6～7月）」／「高速道走行訓練（9月）」／「冬期雪山走行訓練（12～1月）」の実施。
		継続的、計画的な乗務員教育の実施（車両知識の教養など）	「グッドラーニング」による計画的な安全安全教育の実施（毎月1講座）／整備士による運転士向けの技術教育の実施
		車両・設備更新による安全性の向上	車両及びその他設備の更新（乗合車両2台（9-10月）、EV1台（1月））、バス車内置き去り防止機器（降車後の車内点検促す機器）等
		各種安全訓練の実施による危機管理意識の体制の強化	外部機関（自治体・警察等）と連携し「自然災害想定訓練」の実施（9月）
		所管各路線の危険箇所・運行ルールの周知体制の強化	所管の各路線の独自のルールの再周知するとともに継続してヒヤリハット・危険箇所の収集を実施（過去のヒヤリハットを含め、乗務員周知）
4	自ら考える組織	運輸事業の安全に関する外部セミナー（NASVAセミナー等）への積極的な受講による安全意識の向上	経営幹部、運行管理者による各種セミナー（国交省認定）の受講（各1名以上）
		模範従業員の表彰制度の積極的な活用による安全意識・モチベーションの向上	ヒヤリハット・危険箇所、車内美化の貢献による「模範乗務員表彰」の実施（賞与月：12月）
5	顧客を意識した事業活動	利用客への安全啓発活動の実施	地域イベント等における乗り方教室（安全教室含む）の実施（7月・9月）
		乗務員・出札窓口への苦情削減（前年度4件）	障がい者団体との意見交換会の実施（12月）
6	防災力向上の取り組み	緊急時（災害時等）の初動体制・管理体制の強化	「緊急時対応マニュアル」の再点検の実施／棚卸による備蓄品の把握管理の実施
		路線所管エリアのハザードマップの更新および社内周知の徹底	路線所管エリアのハザードマップの更新および社内掲出による周知
7	無災害の職場づくり	職場内での労災リスク管理	職場内巡回、ヒアリングによるの危険箇所・設備（照明など）確認および改善箇所の優先順位の設定
		5S活動の推進によるクリンネス・クレンリネスの向上	過去発生した労災事故を会議や点呼時に情報共有し、再度注意喚起を実施する
		—	5S活動のもと職場内の整理整頓および不要な物は廃棄